

本書の活用について

1 作成の目的

児童生徒への適切な指導について、具体的な事例をまとめ、示すことにより、各校で行われるケース会議の充実に寄与し、支援体制を強化するための一助とする
--

2 資料の内容

本書は、児童生徒への適切な指導について、具体的な事例をもとにまとめたものです。作成に当たっては、当センターにおいて、平成26年度の教育相談に関する研修を受講した方々から、日頃、各校で課題に感じていることをお聞きし、その中から、特に多く挙げられた「不登校、不適應状態にある児童生徒」「人間関係がうまく作れない児童生徒」「学習意欲が低下している児童生徒」等に関する事例を取り上げ、小、中、高等学校ごとに対応の具体策を例示しました。

3 資料の構成

各事例では、児童生徒をどのように見立てるのかという児童生徒理解、それをもとにした学級・ホームルーム担任としてのかかわり、指導目標の設定や役割分担などの校内における組織的な対応、さらに保護者や他機関等との連携について示してあります。また、各事例の最後の「かかわりのポイント」では、全体を通しての補足内容や指導上の留意点などが解説されています。

巻末には参考資料として、チーム支援計画シートを掲載しました。実際のケース会議を有効に進めるための流れに沿って作成しており、評価・改善の欄も設けています。各校でケース会議を行う際に御活用下さい。

4 活用上の留意事項

本書に示した児童生徒理解とその対応は一例です。各校においては、実際に支援が必要な児童生徒の状態をしっかりと見つめながら、本書の事例に示された支援策などを参考に児童生徒への支援を検討して下さい。